

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に伝わるものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良市民だより

No. 247

市民のうごき

Table with population statistics: 人口 220,657 (2,009), 男 107,402 (1,048), 女 113,255 (961), 世帯数 66,929 (898)

手製のおみそはいかがです



(上) 大豆を煮込む主婦 (左) 講習会で大豆とコウジをまぜあわせる主婦—いずれも西部公民館で

今年 五千戸目標に講習 添加物のない自然の味普及

余剰米の活用で添加物のない自然食品の普及を—と健田市長の提唱で、市が昨年八月はじめた「みそづくり」講習会は「うまくて、値段が安くて、手軽にできる」と好評。今年三月までの普及目標一千戸を軽く突破し、千二百二十人が受講しました。

大豆は自給自足 休耕田転作に奨励金

大豆は、みそだけでなく、しょう油、とうふ、納豆の原材料になり、需要が多いにもかかわらず、日本では年間五百万石も輸入しているのが現状です。

制定委員会が発足 福祉憲章制定 福祉都市宣言 案文の作成へ

九月十五日の市福祉大会に発表を予定している「福祉憲章」と「福祉都市宣言」の憲章・宣言案文を審議する市福祉憲章制定委員会は、四月二十五日午前十時から市役所会議室で初の委員会をひらきました。

講習会は好評 会場づくりに四苦八苦

大豆を作れば土地は肥えて地方の培養ができます。十町当り三万五千円の国の転作奨励金に市の奨励金五千円を加えて四万円の助成が得られる上に、大豆反当り百三十石(約一石)の収穫として、一万五千円程度の収入が見込まれます。

古米を利用 お安く余剰米消化へ

講習会でつくるみそは、大豆一に対して米二の割合で仕込みます。材料となるコウジは、これは関係機関と協議を重ねた結果、農林省で売られている破砕精米(米粒の半分ぐらいに砕いたもの)をとりあえず十八シ(キロ当り六十八円)を買って受けることになりました。これで、いま

本号増ページ

この五月一日号は四ページを増幅して八ページとし、四・五・六面に「市政についての世論調査」の結果を特集しました。

税の相談日 5・15・25 奈良税務署

質問とその答え

…居住環境…

◇あなたは、いま住んでいる奈良市を「住みよいところ」とお考えですか。そうはお考えになりませんか。

- 1. 住みよい 67.2%
- 2. 住みよいとは思わぬ 10.6
- 3. どちらともいえない 20.1
- 4. こたえない 2.1
- 計 100.0

◇(前問で「住みよい」と答えた人に) どのような点から、そうお考えになりますか。(自由回答=複数)

- 1. 自然環境がよい 37.1%
- 2. 公害が少ない 20.5
- 3. 災害が少ない 6.7
- 4. 古社寺・史跡・名勝がゆたか 11.1
- 5. 交通が便利 9.0
- 6. 物価が安い 0.2
- 7. 人情がよい 1.2
- 8. 子どもの教育によい 1.5
- 9. 住みなれたから 12.2
- 10. 市政がよい 0.5
- 計(回答数657) 100.0

◇(同「住みよいとは思わぬ」と答えた人に) どのような点から、そうお考えになりますか。(自由回答=複数)

- 1. 物価が高い 29.1%
- 2. 買物に不便 10.2
- 3. 税金が高い 15.8
- 4. 交通が不便 8.7
- 5. 道路や下水道が不備 10.2
- 6. 水道料金など公共料金が高い 7.1
- 7. 市政への不満 6.3
- 8. 環境がよくない 9.4
- 9. 人間関係がよくない 3.1
- 計(回答数56) 100.0

…永住の意思…

◇あなたは、このまま奈良市にずっと住みたいとお考えですか。それとも奈良市以外のどこかへ移りたいとお考えですか。

- 1. 住み続けたい 75.3%
- 2. 移りたい 5.5
- 3. わからない 17.5
- 4. こたえない 1.7
- 計 100.0

…交通事故に対する考え方…

◇あなたや、あなたの家族で自動車による交通事故にあわれたことがありますか。あれば何回ですか。

- 1. ある 23.3%
- 1回 97人 78.9%
- 2回 18 14.6
- 3回 5 4.1
- 4回 2 1.5
- 5回 1 0.8
- (小計 123) 100.0
- 2. ない 76.6
- 3. こたえない 0
- 計 100.0

◇自動車は凶器だといわれていますが、あなたは、これについてどうお考えになりますか。

- 1. 凶器だと思う 27.7%
- 2. 場合によっては凶器になる 52.0
- 3. 凶器とは思わない 10.8
- 4. 何ともいえない 4.4
- 5. わからない 4.2
- 6. こたえない 0.9
- 計 100.0

…下水道行政…

◇市では、下水道工事を促進するために、45年度から受益者負担金制度を採用していますが、あなたはこのことをご存知ですか。

- 1. 知っている 33.2%
- 2. 知らない 65.1
- 3. こたえない 1.7
- 計 100.0

…子どもの遊び場…

◇お宅のお子さんは、平素どこで遊んでおられますか。(お子さんは15歳以下)

- 1. 近くの道路 11.4%
- 2. 家の中 13.5
- 3. 児童公園(ちびっこ広場) 7.6
- 4. 空地 13.8
- 5. 学校 2.8
- 6. その他 3.6
- 7. わからない 5.7
- 8. 子どもはいない 29.2
- 9. こたえない 12.3
- 計 100.0

◇公園とか、子どもの遊び場などで希望があれば教えてください。(自由回答=複数)

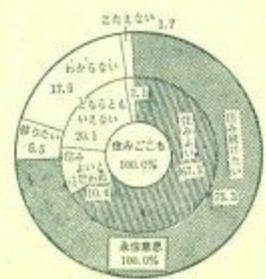
- 1. 遊歩道を設定し、車を締め出してほしい 17.9%(22.0%)
- 2. 自動車の不法駐車を取締ってほしい 27.7 (34.0)
- 3. 近くに児童公園を設置してほしい 21.4 (26.3)
- 4. 今ある児童公園を広げてほしい 6.5 (7.9)
- 5. 児童公園に遊具を整備してほしい 5.6 (6.9)
- 6. 児童公園に便所をつくってほしい 2.3 (2.9)
- 小計(回答あり=594)81.4(100.0)
- 7. こたえない 18.6
- 計(回答数=730) 100.0

…電話サービスセンター…

◇市では「すべて市民本位に」の行政を進めるため、9月20日から電話サービスセンターを開きました。あなたは、このことを知っておられますか。

- 1. 知っている 42.3%
- 2. 知らない 56.9
- 3. こたえない 0.8
- 計 100.0

ます、これに対し若い人ほどその気持ちは薄れ、二十代では58・8%(男50・0%、女64・7%)、三十代73・0%(男62・8%、女84・9%)、四十代80・4%(男76・5%、女84・3%)、五十代81・8%(男81・3%、女82・4%)の順、職業別では農林業がすべて永住の意思を持っており、学生層(33・3%)が飛



「住みよい」奈良のまち

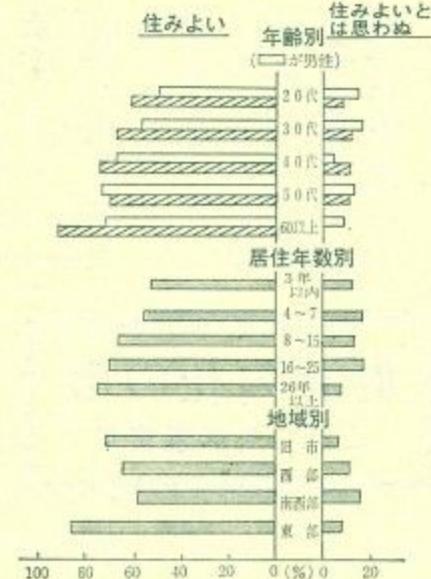
めぐまれた自然環境 住めば愛着強くなる

居住環境

「日本一暮らしやすいまち」をめざして市政を進めているが、はたして市民は、この奈良を「住みよい」と思っているかどうか。まず皮切りの質問で、このことを聞いてみました。



人のうち二人強が住み心地がよいとし、「住みよいとは思わぬ」は10・6%、「どちらともいえない」が20・1%となつています。



六年以上の人では75・9%となつており、住めば住むほど、奈良の地への愛着が強くなることを示しています。

また、地域的には東部農林地帯の人(87・5%)を最高に、旧市内(72・4%)、西部住宅地(64・7%)、南西部農林地帯(58・8%)の順に「住みよい」とし、これは「住みよいとは思わぬ」と答えた人のちょうど逆順になり、地域的な特性を示しているといえます。

「永住したい」75・3% 四人中三人までが愛着 老人・農林業に圧倒的

永住の意思

奈良市の「住みよさ」と関連して、それではどの程度の人がここに住み続けたいと思っているか、「永住の意思」について聞いてみました。

「ずっと住み続けたい」がさすがに圧倒的に多く75・3%と、「住みよい」と答えた率をずっと上回り、前年調査より1・4%ふえています。これに対し「移りたい」というのは、わずか5・5%

市では、道路整備五カ年計画、道路舗装三カ年計画によって、市道の改良と舗装の事業を進めています。これを市民がどの程度知っているかをまず聞いてみました。これらの計画を「知っている」と答えた人と「知らない」と答えた人は全く同数で、いずれも49・1%。半数近くが知っているわけです。

また、市の道路の現状については、「満足している」はわずか9・7%で、63・0%

道路

道路舗装公社に期待

の人が「不満だ」としています。とくに、運転免許所持者の75・8%が道路に不満を持っていました。不満の理由としては、「道幅がせまい」6%、「自動車が激しく生活が脅かされる」10・5%などとなつています。

市の道路舗装公社(調査時点設計中)の設立については、「よいことだ、ぜひやってほしい」というのが61・9%あり、市民の多くがこの財団法人設立に期待を寄せていることがわかりました。

この調査は面接法(一部留置式)で実施。調査の実務は専門機関である大阪興業調査研究所に委託。昨年十二月に実施し、旅行中、居住地不在、面接

47年17・8%、87年15年22

市民の声を聞く

この調査は面接法(一部留置式)で実施。調査の実務は専門機関である大阪興業調査研究所に委託。昨年十二月に実施し、旅行中、居住地不在、面接

47年17・8%、87年15年22

よる少数の人の声。を調べることによって、市民全体の意識を探ることが出来ます。市広報公聴課では、四十六年度調査を昨年十二月に実施。その集計、分析をこのほど終りました。以下はその概要です。

今回調査は、主として市の行政の表面に出た新しい施策についての市民の関心を中心に、また激化する自動車の交通災害についての意識調査を加えたのが特徴です。

ほほえみの鐘

「くろくろさん・早寝早起き運動」の一環として、ほほえみの鐘を鳴らしているが、どの程度市民の耳に届いているかを試してみました。

「よく聞きとれる」が、11・6%、「やや聞きとれる」が22・0%で、合わせて全体の約三分の一が鐘の音を聞きとっているが、59・6%の人には届いていないことがわかりました。

聞きとれない地域は東部農林地帯では83・3%におよび、西部住宅地で64・7%、南部農業地帯で61・4%、一ぱんよく聞かせる旧市内でも半分以上(52・3%)が聞きとれないことになっていました。

そこで、市ではこの調査のあとで、あらたに電波の中継所6カ所を増設、全市二十カ所にしたので難聴地帯は縮小したはずですが、

ほほえみの鐘は朝・昼・晩の3回鳴らしているが、朝の時刻(夏場は五時、冬場は六時)について聞いてみました。これに対し意見をのべ

質問とその答え

…道路行政…

◇市では、道路整備5カ年計画、道路舗装3カ年計画をたてて、市道の改良、また舗装の事業を進めています。このことをあなたは知っておられますか。

1. 知っている 49.1%
2. 知らない 49.1
3. こたえない 1.7
計 100.0

◇あなたは、市の道路について、現状に満足していますか。それとも不満ですか。

1. 満足している 9.7%
2. 不満だ 63.0
3. 何ともいえない 24.9
4. こたえない 2.5
計 100.0

◇(前問で「不満だ」と答えた人に) どのような点が不満だと思いますか。(自由回答=複数)

1. 道幅が狭い 27.3%
2. 地道で路面が悪い 23.1
3. 道路がいたんで歩きにくく危険 9.9
4. 曲っていて見とおしが悪く危険 5.0
5. 危険で横断できない(歩道橋がほしい) 4.2
6. 歩道がなくて危険 8.9
7. 自動車が激しく生活がおびやかされる 10.5
8. 道路がないので不便 4.0
9. 危険なので安全策を講じてほしい 7.1
計(回答数619) 100.0

…水道行政…

◇あなたは、市の水道局にサービスセンターのあることをご存じですか。

1. 知っている 39.1%
2. 知らない 59.0
3. こたえない 1.9
計 100.0

◇あなたの家で水道が故障したり、事故があったことがありますか。

1. ある 46.5%
2. ない 44.2
3. わからない 7.2
4. こたえない 2.1
計 100.0

◇(前問で「ある」と答えた人に) その時水道局へ連絡したらすぐ修理に来てくれましたか。

1. すぐに来た 44.9%
2. なかなか来なかった 36.3
3. ついに来てくれなかった 2.4
4. 連絡しなかった 15.5
5. こたえない 0.8
計(回答者=245人)100.0

…窓口サービス…

◇あなたは、今年になってから何かの用事で市役所出張所、または連絡所へいかれたことがありますか。

1. 行った 63.9%
2. 行かなかった 35.3
3. こたえない 0.8
計 100.0

◇(前問で「行った」と答えた人に) その時の用件は、待たずに済みましたか。それとも待たされましたか。

1. 早くすんだ 38.9%
2. 普通 40.6
3. 長く待たされた 19.3
4. わからない 0.9
5. こたえない 0.3
計(回答者=337人)100.0

◇(同「行った」と答えた人に) その時の職員の応接態度はどうでしたか。

1. たいへんよかった 16.9%
2. いくらかよかった 17.5
3. 普通 47.8
4. すこしよくなかった 11.9
5. たいへんよくなかった 4.2
6. わからない 1.5
7. こたえない 0.3
計(回答者=337人)100.0

◇「ほほえみの鐘」は、お宅ではよく聞きとれますか。それともどの程度ですか。

1. よく聞きとれる 11.6%
2. やや聞きとれる 22.0
3. きこえない 59.6
4. こたえない 6.8
計 100.0

◇「ほほえみの鐘」は、夏場は朝5時に、冬場は6時に鳴らしてありますが、あなたは、この時刻についてどうお考えですか。

1. よい 28.3%
2. すこし早い 14.2
3. 早い 12.5
4. おそい 0.2
5. すこしおそい 0.6
6. こたえない 44.2
計 100.0

◇あなたは、奈良市政のことを何によって知ることが多いですか。いちばん多いものを一つ選んでください。

1. 新聞 13.9%
2. 市民だより 79.3
3. 広報板(ポスター・はり紙) 1.5
4. ラジオ・テレビ 0.9
5. パンフレット 0.0
6. その他 1.5
7. こたえない 2.9
計 100.0

あそび場

児童福祉の一環として、市では、子どもたちの安全で楽しい遊び場として、児童公園(ちびっこ広場)づくりを進めています。いろいろな子どもたちは早速どこで遊んでいるのだろうか。このことを調べ、同時に公園とか子ども遊び場について、父兄たちの希望を聞いてみました。

調査では子どもがいる家庭は全体の58・4%で、これら子どもの遊び場としては「空地」が最も多く全体の13・8%、「子どものある家庭の23・7%」について「家の中」が13・5%(同23・1%)、「近くの道路」が11・4%(同19・5%)がおもな遊び場で、安全な「児童公園(ちびっこ広場)」は7・6%(同13・0%)、「学校」2・8%(同

4・9%)と合わせて低率。奈良市の子どもの86・2%が安全な遊び場がないことがわかりました。

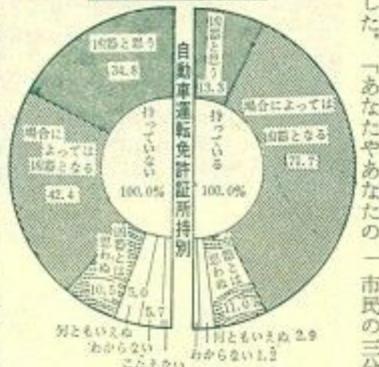
地域的には、西部住宅地は「児童公園」の利用が最も多く思われており、ついで「家の中」「空地」「道路」の順。旧市内では「道路」をトップに西部とちょうど逆の順になっているのが特徴的です。南部農業地帯は「家の中」、東部農林地帯は「空地」がそれぞれトップで、地域的な特性を示しています。

こうした遊び場に対する父兄の希望としては、不法駐車による子どもの遊び場占領に対する取締りを望む声がいちばん多く27・7%、児童公園や遊歩道の設置がこれにつき、あとは児童公園の拡張や内容の充実などとなっています。

「電話サービスセンター」を満足させましたが、この機関が市民にどの程度知られているかを調べてみました。その結果、同センターの設置を「知っている」と答えたのが42・3%で「知らない」は56・9%、知っている人は半数足らず。

この「知っている」と答えた二百二十三人について、利用したことがあるかどうかをたずねてみると、利用したことが「ある」と答えたのは、わずか5・4%でした。これは、調査時点が同センター発足後わずか三カ月しかたっていないためかと思われます。

自動車に対する意識

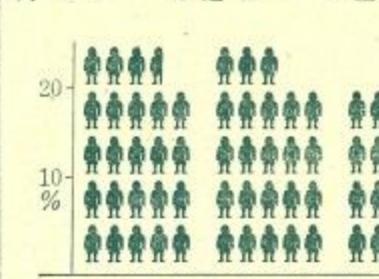


奈良市は、四十六年度から「交通事故半減三カ年計画」をたて、積極的に交通事故対策を進めています。その前提として、市民の交通事故に対する意識について調べてみました。「あなたやあなたの家族で自動車による交通事故にあったことがあるか」の問いに対し、「ある」と答えたのは全体の23・3%、これらの人の78・9%は事故一回で五回以上も事故を経験したといいい、これを延べ率にすると、全体の30・6%となり、市民の三分の一近くが直接または間接に、被害者なり加害者として交通禍の危険を体験しているということになります。

またこうした「交通戦争」の元凶のようになっている自動車に

43・2%の子が空地や道路であそぶ

希望を聞いてみました。調査では子どもがいる家庭は全体の58・4%で、これら子どもの遊び場としては「空地」が最も多く全体の13・8%、「子どものある家庭の23・7%」について「家の中」が13・5%(同23・1%)、「近くの道路」が11・4%(同19・5%)がおもな遊び場で、安全な「児童公園(ちびっこ広場)」は7・6%(同13・0%)、「学校」2・8%(同



「広報公聴への要望」

一、市民だよりの充実 四一・七%
二、広報板の活用六・〇%
三、市民の声を聞く会などの開催 六・〇%
四、広報公聴車の巡回 五・八%
五、テレビ・ラジオの利用 九・一%
六、日刊新聞に市政だよりの掲載 六・〇%
七、市民の声、投書箱の設置 七・六%
八、議会の内容を市民だよりに掲載 一一・三%
九、パンフレット、ポスターなどの活用五・〇%
十、こたえない 一・五%
計(回答数=八二七)

自動車の凶器性

た二百九十四人のうち「早すぎる」と思う人は48・0%、「遅すぎる」は1・4%にすぎず、いまの時刻を是認する人が50・7%と半数を占めました。

家族で自動車による交通事故にあったことがあるか」の問いに対し、「ある」と答えたのは全体の23・3%、これらの人の78・9%は事故一回で五回以上も事故を経験したといいい、これを延べ率にすると、全体の30・6%となり、市民の三分の一近くが直接または間接に、被害者なり加害者として交通禍の危険を体験しているということになります。

さらに、ドライバーとしてどうかについて、免許更新所持者百七十三人にきいてみると「凶器だ」と答えた

ついで意識はどうかを調べると「凶器だ」と思う人が27・7%、「場合によっては凶器となる」が52・0%あり、これをあわせるとドライバーの85・0%が自動車の凶器性を意識しているわけです。一方「凶器とは思わない」は10・8%に過ぎません。

が、「お互いに交通ルールを守る」「交通三悪の追放と運転者の安全運転」など交通安全を強調する人が36・0%、また道路整備、歩道の区別、信号・道路標識の整備など施設面を強調する人が32・4%、違反者罰則の強化、免許条件の厳格化など制度の強化を望む人が5・3%のほか車両規制、交通安全の徹底、安全対策などをあげていました。

「電話サービスセンター」を満足させましたが、この機関が市民にどの程度知られているかを調べてみました。その結果、同センターの設置を「知っている」と答えたのが42・3%で「知らない」は56・9%、知っている人は半数足らず。

この「知っている」と答えた二百二十三人について、利用したことがあるかどうかをたずねてみると、利用したことが「ある」と答えたのは、わずか5・4%でした。これは、調査時点が同センター発足後わずか三カ月しかたっていないためかと思われます。

「広報公聴への要望」

一、市民だよりの充実 四一・七%
二、広報板の活用六・〇%
三、市民の声を聞く会などの開催 六・〇%
四、広報公聴車の巡回 五・八%
五、テレビ・ラジオの利用 九・一%
六、日刊新聞に市政だよりの掲載 六・〇%
七、市民の声、投書箱の設置 七・六%
八、議会の内容を市民だよりに掲載 一一・三%
九、パンフレット、ポスターなどの活用五・〇%
十、こたえない 一・五%
計(回答数=八二七)

市政についての世論調査

奈良市全域を性格別に四地区に分け、地区ごとに有権者名簿から無作為に調査対象(サン

拒否などで回答のとれなかったものは百七十三人で、回答率は、年以上30・0%でした。75・3%でした。回答者の内訳は男49・0%、

九階建て新住宅へ

西之阪住宅改良第二期工事

市内西之阪町住宅地区改良事業の第二期工事の起工式が四月八日、西之阪町の現地で慶田助役(市長代理)、玉井市議会議長ら関係者六十人が出席して行なわれました。この事業は「地区改良法」に基づいて施工されるもので、



西之阪改良住宅の完成予想図

で、老朽した住宅が密集し、せまい道路事情など生活環境にめぐまれない西之阪町を、住みよいまち大改造するもので、事業は昭和四十五年から五カ年計画で行なわれ約十三億円の事業費で、同地区百六十四戸のうち老朽住宅百四十六戸を取り除き、高層および中層の改良住宅三むね百九十戸を建設するもので、昨年十二月第一期の工事に着手しました。

福祉施設へ 35万余円を

奈良市善意銀行では、去る三月三日老人福祉施設をはじめ市内民間の福祉施設十八団体へ助成金として、善意の皆さんから預託された義金から三十五万八千六百円を払い出しました。

市地婦連の新役員

奈良市地籍婦人団体連絡協議会の役員が四月五日改選され、四十七年度役員につきの方々が選ばれました。

市職員を募集

申込み15日まで

市では保母・消防・企業各職員を募集しています。いずれも若干名で、学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した方で、保母職は保母免許を持っている方に限り、希望の方は五月八日から同十二日まで市人事課内試験委員会(電話七七八四五番)へ申し込んでください。問い合わせは同委員会へお問い合わせください。

国民手帳には印紙をはりません

年金

この四月から国民年金保険料の受取り方が変わりました。

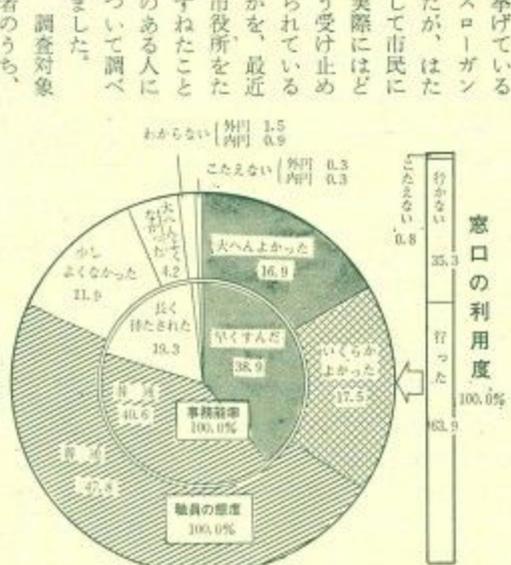
いままでは保険料を受取ったとき、国民年金手帳に印紙を

「普通」以上が82・2%

市職員の応接態度

窓

明るく、親しみやすい窓口。これは市政執行の第一歩に



下水道

大半が知らぬ

文化的・衛生的な都市づく

断然「市民だより」

主婦の92・1%が頼りに

広報公聴

市政を推進するコミュニティの場として広報・公聴が重要視されています。市では「市民だより」をはじめあらゆる手を打っての広報活動、「市政懇談会」をはじめの手この手の公聴活動を行なっています。このうち市民が市政を知る広報媒体として何が最も受け入れられ、

水道

浸透せぬサービスセンター

水道については、今回はサービスセンターの面をばって調査しました。水道局にサービスセンターがあることを「知っている」と答えたのは、39・1%と意外に低く、「知らない」

が59・0%もありました。「知っている」と答えた人の男女別では、男34・9%に対し女43・1%と高く、とくに主婦の50・7%が知っていたのは、やはり生活につながるためでしょう。つぎに、家庭水道の故障や事故の経験について「ある」と答えたのは46・5%で、意外に多く、これも水道施設の古い南西部と旧市内が多いようです。

これらの故障・事故に対するサービスセンターの処理状況について、「すぐ来た」と答えたのは44・9%で、これは連絡した家庭の53・7%にあたりますが、「なかなか来なかった」と「ついに来なかった」の両者を合すると、連絡した家庭の46・3%がサービス不足を訴えていることとなります。

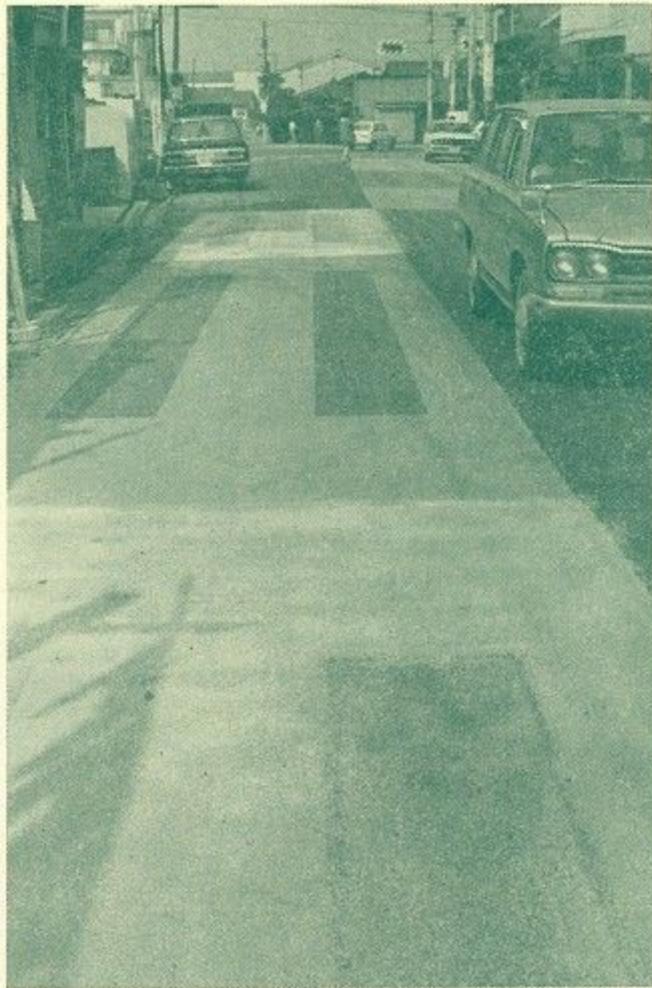
りをめざして下水道を完備し、全市の水洗便所化を進めていますが、その施策に対する市民の関心度はどうかを調査しました。市では、四十五年度から下水道整備計画をたて、全市事業決定区域(旧市内と富雄地区)六百六十四・八戸を六カ年で完成するため、受益者負担金制度を採用、下水道の恩恵を受ける土地所有者に建設費の一部を負担してもらっています。このことについての周知度はどうか?

この制度を「知っている」と答えたのは33・2%で三人に一人といった程度。「知らない」は65・1%で、この制度はなお十分市民に知られていないことがわかりました。地域別では事業計画に入っていない東部農林地帯がさすがに知らぬ人が多く、75・0%にも上っています。比較的知っているのは旧市内だが、それでも60・7%が知らぬと答えています。なお、市内の水洗便所化は15・6%で、浄化そうづき水洗が18・8%、市清美公社のくみ取りが52・4%となっています。

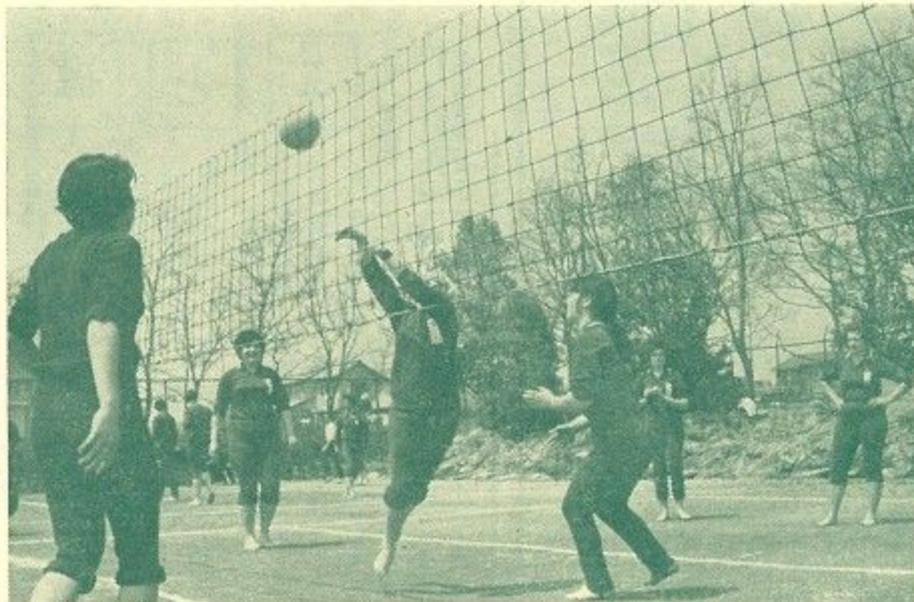
地域的には、東部農林地帯が87・5%と、最も高く、南西部農林地帯が73・2%と低く、西部住宅地帯・旧市内はいずれもその中間で81%台となっています。職業別では主婦について農林業が92・0%を示して高く、自営商業88・2%、無職73・5%と外出の少ない層に多く、一ぱん少ない学生層でも60・0%を示しています。「一方「新聞で知る」というのは、女性よりも男性(18・2%)に多く、それも管理職、一般事務職、専門技術職、学生などの層に多くなっています。つぎに、今後の広報公聴活動の参考として、どういう手段が考えられるかを自由に述べてもらいました。これに答えた人は延べ八百二十七人で「市民だより」の充実を希望する声が一ぱん強く全体の41・7%、つぎに「議会の内容を市民だよりに掲載」が11・3%で、「市民だより」に関連した要望があわせて半数以上を占めました。ほかに少数ながら「市民の声・投票箱の設置」とか「市民の声を聞く会などの開催」など公聴の拡充を望む声もみられました。

▼新しいデザインのカラー舗装

市内西木辻町の市道107号で



▼親善バレーボール試合に健闘のソ連代表女性チーム
一条高校バレーコートで



き、いやでもドライバーの注意を引くようになっていきました。さらにこの石はスベリ止め、冬の凍結防止にもなり、その効果が期待されています。

市では、四十六年度から「交通事故半減三カ年計画」をたてて事故防止に取り組んでいます。その一つとして今年度着工する「やすらぎの道」へのテストケースの意味も含めて色調に工夫と研究をこらし、そのなから効果的な色彩を「やすらぎの道」のルートにあたる六条・奈良阪線、学園前・大瀬線の交通の要所に採用する考えで、加えてストップサイン、キャッツアイといった夜間の交通安全表示装置を設ける予定です。

▶ご婦人を先頭に歩け歩け
市民歩こう大会(市内水間町水台林道で)



▼親善試合で合同練習する奈良・小浜両市の剣士たち
姉妹都市親善試合(小浜第二中学校で)



カメラ・ルポ

「光る石」のカラー舗装

西木辻町の市道にお目見え

道路に色彩舗装をほどこして、ドライバーに安全運転の意識を呼びおこそうと、全国でも珍しいアイデアとして奈良市が試みているカラー舗装二番目が四月二十日市内西木辻町の市道107号に完成しました。

こんどのカラー舗装は通園・通学児、一般歩行者の多い市立済美幼稚園前の道路にテストケースとして行なったもの。舗装区間は六十メートル、それぞれの中央線側に三十センチ幅三層の黄色地に緑のタテ線二本を平行に引き、黄緑色に濃淡三段階の色調を配したもので、市庁舎前の一番目のものとは全く変わっています。

「剣」の姉妹親善 小浜市で奈良好成績

姉妹都市小浜市との親善剣道大会が、四月二十三日小浜市立小浜第二中学校体育館で開かれました。

昨年十一月に姉妹都市の盟約を結んだから経済、文

とくに注目されるのは、夜間でもよく見えるように、特殊加工した粒状の「光る石」をちりばめてあり、ライトが当たるとキラキラと輝

化、観光など数々の交流を行なうてきました。こんどさらにスポーツを通じて両市の友好・親善をはかろうと、両市の教育委員会と剣道連盟が共催して開かれたもので、健田奈良、鳥井小浜両市長をはじめ玉井奈良、浦谷小浜両市議会議長のほか役員・選手ら総勢三百人が参加しました。

午前八時三十分、安藤小浜市教育長の開会宣言で開会式が行なわれ、鳥井小浜市長の歓迎のことばにつづいて、健田市長が「千二百六十年前の魂のふれあいが今日よみがえり、昨年十一月姉妹都市が結ばれました。ただいまは剣道の試合を通じて、一層両市の親密になることを願い、ここに招待を受けました。感謝をこめてお礼をいいます」とあいさつ。そして両市選手団がそれぞれお国自慢の記念品を交換して固く握手。親善ムード最高潮の中を奈良育英中学校三年健田忠兵衛君(習心館道場)が特別演武(長谷川英真流居合道)を披露しました。

市では、四十六年度から「交通事故半減三カ年計画」をたてて事故防止に取り組んでいます。その一つとして今年度着工する「やすらぎの道」へのテストケースの意味も含めて色調に工夫と研究をこらし、そのなから効果的な色彩を「やすらぎの道」のルートにあたる六条・奈良阪線、学園前・大瀬線の交通の要所に採用する考えで、加えてストップサイン、キャッツアイといった夜間の交通安全表示装置を設ける予定です。

あるけ・あるけ 水台林道を200人

自然をもとめて、新緑の野山を行く「市民歩こう大会」が四月二十三日行なわれ、男女の健脚二百人が参加しました。この催しは、市教育委員と市野外出動協会が共催して毎年開いているもので、今回は奈良市の屋根といわれる、田原地区の水台林道を歩きました。

午前九時半、三条川崎町からバスで水間峠へ。絶好のハイキング日より恵まれて、水間峠から一台峠にいたる美しい山の尾根を雄大な大和高原を見おろしながら歩け、歩

成年層が大半でしたが、地元田原地区から参加した山中清一さん(79歳)はこの日の最高齢者、若者に負けず元気に歩き通しました。語りあい、うたいながら楽しく歩く姿は健康そのもの。中にはワラビヤンクンとりを楽しむ家族団らん姿もみられました。塔の森では、二十一年に

回という村のお宮さんのまつりに出あう好機にも恵まれ、路傍に点在する古い石仏のたずまいもひとしお。全コース十三キロを一人の落後者もなく、楽しい一日でした。

一条高校で 日ソの交歓

世界青少年交流協会の招きで来日していたソ連の青年男女五十六人が四月十八日市立一条高校を訪れ、親善バレーボールや交歓演芸会などを開いて友好を深めました。

この一行は、テレビ編集員のバルカンさんを団長とした訪日ソ連代表団で、レニングラード、ウラジオストク、ハバロフスクなどの教師や技術者、労働者、医師など二十二歳から三十八歳の社会人グループ。この日東大寺を見物したあと同校に立ち寄ったもので、さっそくユニフォームに着がえて親善バレーボールの試合に興じました。

カメラライズで昼食をとったあと、午後から授業参観や学生との交歓会を行ない、日ソ両国のうたや踊りを披露しました。このあと法隆寺を見物して京都へむかいました。

ご存じですか
簡易保険料を前納すると
つぎの割引があります

8カ月前納	半月分
1カ月前納	1カ月分

割引き分、「こどもの日」の祝い、誕生祝いはいかがですか

奈良郵便局

